

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 58 ※記入不要	提案機関名	県央地域農業改良普及センター
要望問題 夏まきハウレンソウの栽培方法及び適正品種の選出		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 綾瀬地域において、昨年試験的に6月中旬播種の夏まき栽培（10a）をしたが、抽台などから収穫量は大きく減少してしまった。この時期の市場相場は高く、栽培成績がよければ産地化もできることから、本作型の栽培方法（栽植密度、栽培資材、施設など）や適正品種の調査をしてほしい。		
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生物資源部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 高度化事業「野菜における硝酸塩蓄積機構の解明と低減化技術の開発」 ハウレンソウにおける硝酸塩濃度の品種間差異評価と低硝酸塩系統の選抜	
対応の内容等 ハウレンソウに含まれる硝酸塩濃度の品種間差異及び季節変動等を明らかにするための受託試験の中で、主要品種群から代表的な品種・系統を選び、春夏秋冬で年4作栽培し、各時期における生育特性、品質及び硝酸塩濃度等を測定しています。 なお、本試験では国内外191品種・系統を供試しており、現在、夏作に適した有望品種の絞り込みをしています。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	